

令和5年7月1日

大学院学生の皆様

大学院委員長 佐藤 長門

ChatGPT 等の生成系 AI の利用について

皆さんご存じのように、生成系 AI の開発や利用について、社会的な関心が非常に高まっています。本学においても、本年6月1日付けで「ChatGPT 等の生成系 AI の利用について」と題する学長メッセージが発せられたのは、ご承知のことと思います。大学院の研究活動や教育の場面においても、生成系 AI とどのように向き合うべきか、適切な利用とはいかなるものかが問われています。本大学院は、大学院生の皆さんが**自己実現のために「知」を探究し、主体的に研究を深めていくこと**を最も大事なこととして位置づけています。そのことに資する使用ならば、皆さん自身の監視・管理の下、生成系 AI の長所と短所を把握したうえで、研究活動の一助とする道は開かれていると考えます。ただし、**研究倫理に照らして慎重な取り扱いがつねに各人に求められること**は、いくら強調しても強調し過ぎることはありません。以下、使用に際しての留意点を提示します。すべてについて、熟読をお願いします。

記

まず、最初に強調しておきたいのは、AI が生成した文章はあくまで「素案」であるということです。修訂や添削作業は使用者の能力に依存し、特に研究者としての専門知識や技能のレベルを試されるものとなります。生成結果をそのまま利用することは、専門的な批判の放棄と見なされ、研究倫理にも抵触する行為となります。したがって、以下に示すすべての内容は、この点の担保を前提とします。

- **論文要約とサマリー作成**：ChatGPT 等では、論文を読み込ませて、文章の要約とキーワードの抽出が可能です。したがって、論文名に現れていないキーワードを出力させ、参考として読むべき論文を選択することができます。また、自己作成の論文や学会発表に際して、サマリーを作らせ、それを自分で推敲することができます。
- **原稿校正と文脈修正**：論文投稿には、正確な校正が必須ですが、AI では用字の誤りや変換ミスなどを指摘させることができます。その際、AI がなぜその部分を修正したのか、その理由をリスト化するよう指示すれば、その妥当性を自己判断して取捨選択できます。
- **情報出所の明示**：生成系 AI が作成した出力結果だけでは、その根拠が不明瞭です。したがって、BingAI のように、出所の URL が明示されるものを使い、自分でその根拠

を検証する必要があります。

- **指示内容の精度と質疑応答の繰り返しによる完成度の向上**：AI の出力結果は、与えられた指示内容によってレベルが左右されます。つまり、使用者の能力が重要な要素です。したがって、質疑応答を繰り返すことが、AI とのコミュニケーションを通じて、その完成度を向上させることに繋がります。

社会的な関心の高さを反映して、現在進行で興味深い論考が発表され、効果的な使い方が紹介されるようになってきています（人文社会科学系分野では、経済学での動きが速いようです）。例えば次のようなものがあります。

- [1] 佐倉統（2023）「生成 AI の衝撃と教育 上」『日本経済新聞』（2023 年 5 月 30 日付朝刊）
- [2] 金丸敏幸（2023）「生成 AI の衝撃と教育 下」『日本経済新聞』（2023 年 6 月 6 日付朝刊）
- [3] 上記[2]で引用されているニューヨーク大学のシーマンズ准教授らの論文へのリンク
https://papers.ssrn.com/sol3/papers.cfm?abstract_id=4375268
- [4] 上記[3]の関連論文 <https://onlinelibrary.wiley.com/doi/full/10.1002/smj.3286>
- [5] Kevin Bryan on A User's Guide to GPT and LLMs for economics research へのリンク
<https://bcf.princeton.edu/events/kevin-bryan-on-chatgpt-a-research-tool-in-economics/>
- [6] (Anton Korinek's) 22 ways ChatGPT could be used in economics research へのリンク
<https://qz.com/how-chat-gpt-could-be-used-in-economics-research-1850114121>

最後に、研究者の AI・生成 AI との接し方、スタンスを端的に規定するガイド文を紹介します。これは経済学のある学術雑誌の投稿規定に明記されているものです（世界的な学術出版社である Elsevier 社の発行する査読雑誌の投稿規定に明記されるようになりました）。非常に大事な内容を含みますので、ぜひ下記の Web サイトにアクセスし、該当する項目をお読みください。分野を問わず参考になるとと思います。

Declaration of generative AI in scientific writing

<https://www.elsevier.com/journals/journal-of-macroeconomics/0164-0704/guide-for-authors>

（注： *Journal of Macroeconomics* [Elsevier 社発行] の Guide for Authors のなかに含まれる Declaration of generative AI in scientific writing の項目）

以上